

■末松謙澄 官僚・政治家・文学者・法学者。世界初の「源氏物語」英訳出版以降、生涯、複数の異なる仕事を全うした。

すえまつけんちよう

安政大地震・1855＝ 豊前国京都郡前田村(福岡県行橋市)で、大庄屋末松七右衛門(臥雲)の四男に生まれる。

桜田門外変・1860＝ 5歳：

禁門の変・・・1864＝ 9歳：

薩摩藩士密航1865＝10歳：父の友人村上仏山の私塾水哉園に入って、漢学・詩文を学ぶ。

薩長同盟・・・1866＝11歳：一揆で家が攻撃されて全焼し、一家離散、仏山に引き取られる。

明治維新・・・1868＝13歳：

廃藩置県・・・1871＝16歳：上京して大槻磐溪・近藤真琴に入門。

学問のすすめ1872＝17歳：東京師範学校に入るも退学し、佐木高行の書生を勤めるかたわら高橋是清に英語を学び、翌年にかけて、フルベッキの家に配達される外国新聞を翻訳し、新聞社に売り込むうち、

明治6年政変 1873＝18歳：

佐賀の乱・・・1874＝19歳：笹波捧二のペンネームで{東京日日新聞}に論説文や外字紙の翻訳記事を執筆し、福地桜痴の知遇を得、初の民間工場1875＝20歳：伊藤博文の引きで官界に入り、特命全権弁理大臣黒田清隆に随行して朝鮮に派遣される。

三つの内乱・1876＝21歳：工部省権少丞、

西南戦争・・・1877＝22歳：太政官権少書記官を経て、陸軍卿山県有朋の引き抜きで、陸軍省に転じ、西南戦争に秘書官として従軍。

大久保暗殺・1878＝23歳：イギリス駐在大使館の一等書記生見習いとなって、渡英、英仏の歴史編纂方法の調査に当り、

琉球処分・・・1879＝24歳：*ケンブリッジ大学に入学、英文でジンギスカンを書いて義経説を展開、「明治鉄壁集」を刊行し、世界ではじめて「源氏物語」を英訳して、

明治14年政変1881＝26歳：

新体詩抄・・・1882＝27歳：出版、「支那古文学略史」、

岩倉具視没・1883＝28歳：「希臘古代理学一斑」などを刊行しながら、

文学士・法学修士を取得して、

帝国大学始・1886＝31歳：帰国。内務省参事官。外山正一・福地源一郎らと演劇改良会を始め、「演劇改良意見」「日本文章論」、

国民之友始・1887＝32歳：内務省県治局長、

初の対等条約1888＝33歳：文学博士の学位を得る一方、イギリスの女流作家バーサ・クレイの小説「ドラ＝ソーン」を翻訳・改題した「谷間の姫百合」の出版を開始、

帝国憲法発布1889＝34歳：伊藤博文の長女生子と結婚後、

帝国議会始・1890＝35歳：*好評を得て完結した。第一回衆議院議員総選挙には在官のまま福岡県八区から当選、以来、連続当選三回。大成会・中央交渉部を経て無所属となったが、いわゆる“お味方(吏党)議員”の一人として政府を援助。

足尾鉾毒始・1891＝36歳：

大本教・・・1892＝37歳：第2次伊藤内閣の法制局長官

郡司千島探検1893＝38歳：恩給局長を兼任。

日清戦争始・1894＝39歳：渡韓。

日清戦争終・1895＝40歳：渡韓。男爵授与。

白馬会・・・1896＝41歳：互選により貴族院議員となる。

八幡製鉄始・1897＝42歳：*毛利歴史編輯所総裁を委嘱され、「防長回天史」編纂事業を監修。「国歌新論」刊行。

子規句歌革新1898＝43歳：第3次伊藤内閣に通信大臣として入閣。

ビアノ国産化・1900＝45歳：伊藤系官僚政治家として立憲政友会の創立に参画、第4次伊藤内閣が成立すると内務大臣に就任した。

田中正造直訴1901＝46歳：この年、{社会新報}に「防長回天史編纂事情」として暴露記事が連載される。

日露戦争始・1904＝49歳：日露戦争が始まると渡英し、イギリスの対日世論を有利に導くことに努め、

日露戦争終・1905＝50歳：

満鉄発足・・・1906＝51歳：帰国。枢密顧問官となり、「日本の面影」刊行。

韓国反日暴動1907＝52歳：その勲功により子爵に叙せられた。帝国学士院会員。日本留学中の韓国皇太子養育掛。

伊藤博文暗殺1909＝54歳：

大逆事件判決1911＝56歳：自費出版で「防長回天史」の刊行開始、

明治天皇没・1912＝57歳：

晩年はローマ法研究に力を注ぎ、「欽定羅馬法学提要」など多くの学術文献を翻訳・刊行して、

本格政党内閣1918＝63歳：「三教思想研究」刊行。法学博士の学位をも得たが、

大暴落・・・1920＝65歳：*「防長回天史」の完結後、枢密院会議の席上で高熱を発し、肺炎に腎臓炎・糖尿病を併発、自宅で没した。「小学修身訓」「孝子伊藤公」「明治両陛下聖徳記」の著述・編纂にあたるなど多くの著作を発表。文学・漢詩・和歌・美術などにも造詣が深く、「青捧詩存」「歌楽論」「日本美術全書」(翻訳)などを著わす。